

寄ってみて！！ 井戸端会館
街中に高齢者の生きがいと交流の拠点

小林商工会議所

機関名	小林商工会議所		
所在地	宮崎県小林市大字細野 1 8 9 9 - 3		
電話番号	0 9 8 4 - 2 3 - 4 1 2 1		
地域概要	(1)管内人口 39 千人	(2)管内商店街数 5 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 5 商店街	(2)会員数 166 商店	
	(3)空店舗率 24 %	(4)大型店空き店舗数 0 店	
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 15 年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（高齢者等交流施設）
・井戸端会館整備、運営事業
総事業費 2,377 千円

【事業実施内容】

1. 背景

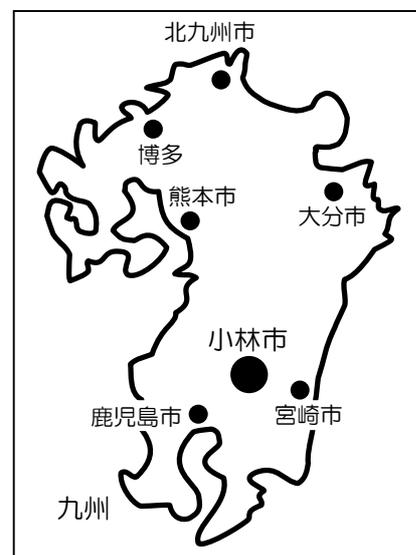
小林市は、宮崎県の南西部にあり、一部を鹿児島県、熊本県に接し、県都宮崎市まで宮崎自動車道を利用して約 1 時間の距離にある。当市は、これまで農業や林業を中心に農産加工、製材業など地場産業が地域の発展を促し、西諸地域（2 市 2 町 1 村）の中心都市としての役割を担ってきた。

当市の中心市街地は、J R 小林駅や国道 221 号周辺を中心に、通りごとに 5 つの商店街が構成されている。また、金融機関や医療機関、行政機関の出先等の公共公益施設も多く立地し、当市の「まちの顔」としての役割を担ってきた。

しかし、近年郊外への大規模小売店舗等の進出やモータリゼーションの進展とともに、駐車場対策など消費者への対応の遅れや主力店主の高齢化や後継者不足等により空き店舗は増加傾向をたどり、平成 14 年 5 月には空き店舗率が 30.7%にも達した。

また、商店街の歩行者、自転車の通行量もメインストリートの中央通り商店街では、昭和 60 年の 3,630 名の半分以下まで落ち込んでいる。

一方、平日の郵便局や銀行などへの来街者は年々増加傾向にあるが、その多くは目的地の駐車場に直接車で乗り付けて用件を済ませる住民が増えている状況にある。そのため、金融機関が休みとなる土、日、祝日の来街者は、平日に比べ極端に少なくなっている。また、平成 14 年 2 月には、大型店の壽屋小林店が閉鎖し、高齢者比率の高い中心市街地の居住者の日



小林市位置図

常生活に影響を及ぼしており、中心市街地の活性化が急務となっている。

そのため、高齢者をはじめ近隣住民の日常生活の支援を強化するとともに、住民の活動の場を提供することにより、中心市街地への来街促進とにぎわい創出等まちの活性化を図ることとした。

2. 事業内容

(1) 事業概要

空き店舗を活用し、高齢者同士や世代間を超えた交流の場にするとともに、商店街のテナントミックスを図り、商店街の連続性及び街中でのコミュニティの向上を目指し、以下の事業を行った。

1) 高齢者の巧みな技による創作作品の展示販売

自分の技(匠)を生かした高齢者の創作活動は、籠やバッグ、人形など小物をはじめその分野は広い。この高齢者の創作作品を展示販売することにより、高齢者の生き甲斐づくりやコミュニティビジネスへのチャレンジ精神の滋養を図った。



高齢者の創作作品展示販売コーナー

2) 地場産の「そば」を活用した「田舎そば麺」店の設置

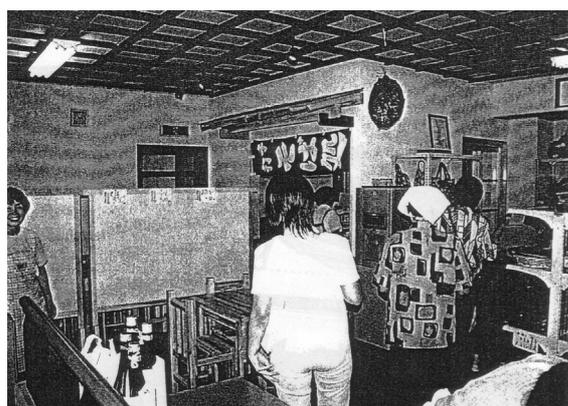
商店街のテナントミックスを図り、地場の食材にこだわったふるさとの味を提供するとともに、「創作作品の展示販売」と同様に、地場産品や郷土料理に詳しいシルバー人材センター会員の知識と技術力を生かしたコミュニティビジネスへのチャレンジ精神の滋養を図った。

<具体的な運営方法>

・運営主体 社団法人小林市シルバー人材センター

・事業内容 同センターの会員が、地獲れそば、ねぎ等を利用し、井戸端会館内の一角に田舎風味のそば麺店を開設した。また、同センターが生産販売しているドレッシングや田舎味噌等の加工品の販売も行った。

・事業経費 使用する食器、調味料、鍋、割り箸等は、同センターの予算や会員所有の不要物を活用した。



田舎そば麺コーナー

3) 高齢者の就業や介護などよろず相談コーナーの設置

常駐の相談員が、高齢者に関する相談に対応する。全国の高齢者の活動情報など、インターネットでの検索やインターネット体験等の指導を行った。

4) リサイクル商品の展示販売、地場産品の加工品（惣菜）等の販売（郷土料理等）

シルバー人材センターが取り組んでいるリサイクル事業の商品の展示販売。また、高齢者が守り続けてきた伝統的食文化の伝承の場とし、惣菜等商品化したものの販売とともにコミュニティビジネスへのチャレンジ精神の滋養を図った。

5) 街じゅう美術館の拠点

商店街活性化事業で取り組む「街じゅう美術館」の作品の回収や持ち込みの場としても活用のほか、作品や事業についての意見や、事業運営についての意見交換を行う場とした。

6) オープニングセレモニー

街じゅう美術館事業とあわせて、事業の実施に際し、オープニングセレモニーを実施した。

実施日

平成 15 年 7 月 12 日

実施内容

セレモニー : 挨拶、くす玉割りほか

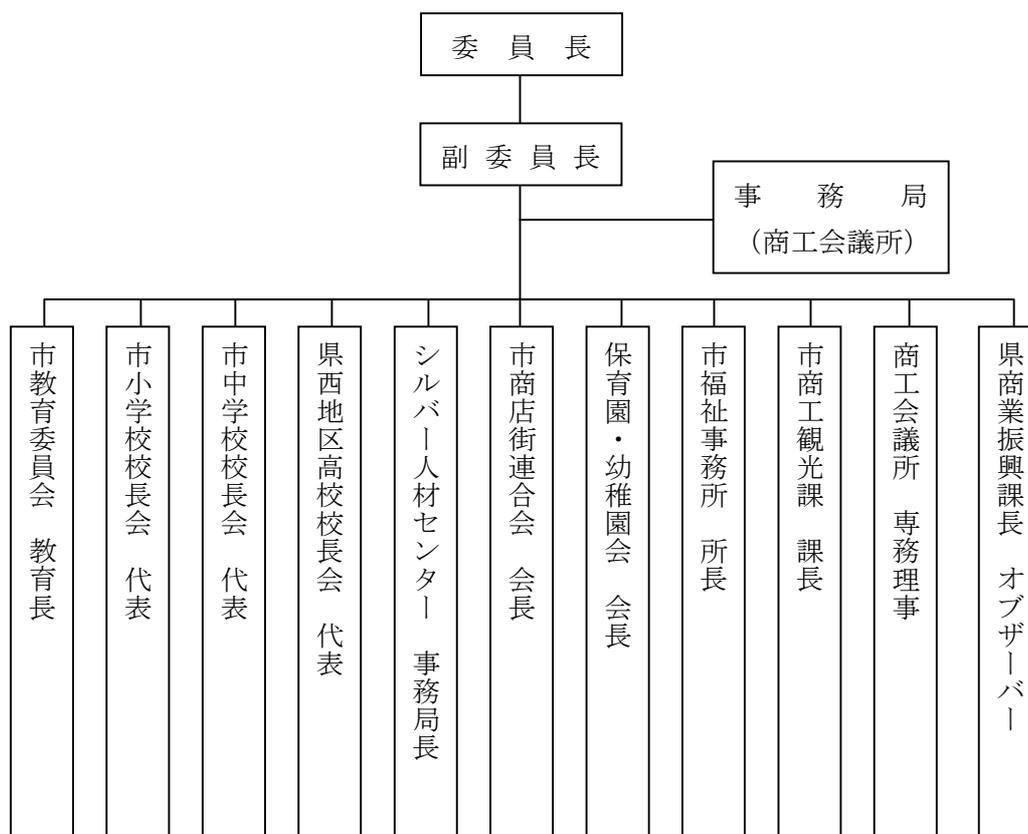
アトラクション : 地元子供達等の音楽演奏等



井戸端会館のオープンチラシ

(2) 運営体制 小林商工会議所内に、商店街関係者、小・中・高等学校等関係者、シルバー人材センター、行政機関関係者からなる小林市商店街いきいき活性化推進委員会内に「寄ってみて井戸端会館の部」を設置し、事業の企画・運営を行った。

また、当事業は社団法人小林市シルバー人材センターの提案により進められた事業であり、実質的な運営は当センターが担当し、商業者と連携をとり、事業を推進した。



【小林市商店街いきいき活性化推進委員会（寄ってみて・井戸端会館の部）】

(3) 実施期間 平成 15 年 5 月 26 日～平成 16 年 3 月 31 日

(4) 開館時間 午前 9 時～午後 5 時

【 効 果 】

・来街者の行動

高齢者の相談コーナー、地場産品販売、軽食コーナーが好評であり、来客数が増加し、商店街の通行量とともに、賑わいがみられた。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・PR

空き店舗利用の事業のため、場所、事業内容があまり一般市民に周知できなかった。

【 事 業 の 実 施 の ポ イ ン ト 】

本事業を実施する場合、運営費等の捻出が難しく、継続事業として困難な状況に直面している。そのため、長期的な計画が必要である。